

税制改正で市県民税はこう変わる！

市県民税・所得税の負担増減額

この表は、給与収入により、国が試算したものです。定率減税は考慮せずに計算されています。実際には各種の所得控除などもあり、必ずしもこの表に当てはまるとは限りませんので目安としてください。

扶養親族等のない場合（独身等）

(単位 円)

給与収入	市県民税			所得 税			市県民税 + 所得 税		
	平成18年度	平成19年度	負担増減額	平成18年分	平成19年分	負担増減額	平成18年	平成19年	負担増減額
1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2,000,000	34,500	66,500	32,000	64,000	32,000	△32,000	98,500	98,500	0
3,000,000	64,500	126,500	62,000	124,000	62,000	△62,000	188,500	188,500	0
4,000,000	96,500	190,500	94,000	188,000	94,000	△94,000	284,500	284,500	0
5,000,000	163,000	260,500	97,500	258,000	160,500	△97,500	421,000	421,000	0
6,000,000	233,000	330,500	97,500	328,000	230,500	△97,500	561,000	561,000	0
7,000,000	307,000	404,500	97,500	474,000	376,500	△97,500	781,000	781,000	0
8,000,000	387,000	484,500	97,500	634,000	536,500	△97,500	1,021,000	1,021,000	0
9,000,000	467,000	564,500	97,500	794,000	696,500	△97,500	1,261,000	1,261,000	0
10,000,000	553,000	650,500	97,500	966,000	868,500	△97,500	1,519,000	1,519,000	0
11,000,000	657,200	741,500	84,300	1,148,000	1,063,700	△84,300	1,805,200	1,805,200	0
12,000,000	775,500	832,500	57,000	1,330,000	1,273,000	△57,000	2,105,500	2,105,500	0
13,000,000	893,800	923,500	29,700	1,533,000	1,503,300	△29,700	2,426,800	2,426,800	0
14,000,000	1,012,100	1,014,500	2,400	1,806,000	1,803,600	△2,400	2,818,100	2,818,100	0
15,000,000	1,130,400	1,105,500	△24,900	2,079,900	2,103,900	24,900	3,209,400	3,209,400	0
20,000,000	1,747,900	1,580,500	△167,400	3,504,000	3,671,400	167,400	5,251,900	5,251,900	0
25,000,000	2,365,400	2,055,500	△309,900	5,106,100	5,416,000	309,900	7,471,500	7,471,500	0
30,000,000	2,982,900	2,530,500	△452,400	6,863,600	7,316,000	452,400	9,846,500	9,846,500	0

(注) 一定の社会保険料が控除されているものとして計算しています。

夫婦と子ども2人の場合

(単位 円)

給与収入	市県民税			所得 税			市県民税 + 所得 税		
	平成18年度	平成19年度	負担増減額	平成18年分	平成19年分	負担増減額	平成18年	平成19年	負担増減額
1,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2,000,000	9,000	9,000	0	0	0	0	9,000	9,000	0
3,000,000	41,000	65,500	24,500	49,000	24,500	△24,500	90,000	90,000	0
4,000,000	76,000	135,500	59,500	119,000	59,500	△59,500	195,000	195,000	0
5,000,000	122,000	216,500	94,500	189,000	94,500	△94,500	311,000	311,000	0
6,000,000	196,000	293,500	97,500	263,000	165,500	△97,500	459,000	459,000	0
7,000,000	276,000	373,500	97,500	356,000	258,500	△97,500	632,000	632,000	0
8,000,000	356,000	453,500	97,500	516,000	418,500	△97,500	872,000	872,000	0
9,000,000	442,000	539,500	97,500	688,000	590,500	△97,500	1,130,000	1,130,000	0
10,000,000	533,000	630,500	97,500	870,000	772,500	△97,500	1,403,000	1,403,000	0
11,000,000	631,200	721,500	90,300	1,052,000	954,500	△97,500	1,683,200	1,676,000	△7,200
12,000,000	749,500	812,500	63,000	1,234,000	1,162,600	△71,400	1,983,500	1,975,100	△8,400
13,000,000	867,800	903,500	35,700	1,416,000	1,371,900	△44,100	2,283,800	2,275,400	△8,400
14,000,000	986,100	994,500	8,400	1,662,000	1,645,200	△16,800	2,648,100	2,639,700	△8,400
15,000,000	1,109,600	1,089,500	△20,100	1,947,000	1,958,700	11,700	3,056,600	3,048,200	△8,400
20,000,000	1,603,600	1,469,500	△134,100	3,087,000	3,212,700	125,700	4,690,600	4,682,200	△8,400
25,000,000	2,221,100	1,944,500	△276,600	4,591,800	4,860,000	268,200	6,812,900	6,804,500	△8,400
30,000,000	2,838,600	2,419,500	△419,100	6,349,300	6,760,000	410,700	9,187,900	9,179,500	△8,400

(注) 1. 一定の社会保険料が控除されているものとして計算しています。
2. 子どものうち1人が特定扶養親族に該当するものとして計算しています。

市県民税の税率が変わります

課税所得	～平成18年度		平成19年度～	
	市民税	県民税	市民税	県民税
200万円以下	3%	2%	6%	4%
700万円以下	8%			
700万円超	10%	3%		

平成18年度の市県民税では、老年者控除の廃止、年金所得控除の見直しなどの税制改正が行われました。そのため、65歳以上で今まで課税されていなかった多数の人が、新たに課税されるようになりました。税制改正は毎年のように

行われていますが、平成19年度では次のように変わります。

■税制改正
税制改正に伴い、所得税の最低税率が引き下げられ（現10%→5%）、また、最高税率が引き上げ（現37%→40%）になります。

これは、国から地方への税源移譲による改正で、試算表の差引税額のとおり、市県民税・所得税の合計額では同額となり、この改正によって、負担増にならないようになっています。

しかし、定率減税が廃止・縮小する部分は、実質増えることとなります。また、課税所得金額が一定額以下の人は、所得税額は減り、市県民税額が大幅に増えることとなります。

■定率減税が廃止に
定率減税が、市県民税は平成19年度から廃止に（平成18年度7・5%、限度額2万円）になります。

所得税も、平成18年分から10%、限度額12万5千円（平成17年分まで20%、限度額25万円）に縮小され、平成19年分からは、廃止されます。

■65歳以上の人は
平成17年1月1日以前に満65歳に達して、所得が125万円（公的年金収入245万円）以下で、市県民税が課税されている人は、平成18年度の税額が3分の2減額されています。

平成19年度は税額の3分の1が減額となり、平成20年度からは、減額措置がなくなりなります。

試算

年齢65歳以上、所得が公的年金のみのもので、「年金収入2,500,000円」「社会保険料の支払額120,000円」「扶養親族なし」の場合。

比較	平成18年度(年分)				平成19年度(年分)			
	市民税	県民税	(所得税)	合計	市民税	県民税	(所得税)	合計
公的年金収入	2,500,000				2,500,000			
所得 (A)	1,300,000				1,300,000			
控除額	社会保険料	120,000	120,000		120,000	120,000		
	基礎控除	330,000	380,000		330,000	380,000		
	控除額計 (B)	450,000	500,000		450,000	500,000		
課税所得金額 (A)-(B)=(C)	850,000				850,000			
税率 (D)	3%	2%	10%		6%	4%	5%	
税額 (C)×(D)	25,500	17,000	80,000	122,500	51,000	34,000	40,000	125,000
調整控除 (E)	-				-			
差引税額	25,500	17,000	80,000	122,500	49,500	33,000	40,000	122,500
定率減税	1,900	1,300	8,000	11,200	廃止	廃止	廃止	廃止
減税後税額 (F)	23,600	15,700	72,000	111,300	49,500	33,000	40,000	122,500
均等割 (G)	3,000	1,500	-	4,500	3,000	1,500	-	4,500
合計年税額 (F)+(G)	26,600	17,200	72,000	115,800	52,500	34,500	40,000	127,000
市県民税	43,800				87,000			